

第 1 回 V・ファーレン長崎支援会長崎支部会議事録 要旨

日 時：平成 22 年 12 月 14 日（火） 19:00～21:00

会 場：長崎市民会館第 3 会議場

支援会参加者：・平鍋公二（会長） ・大山昇（長崎市支部長） ・森崎公彦（長崎支部）
・藤原裕久（運営委員長）

一般参加者：25 名

議事内容要旨

19:00：支援会開会

運営委員長より支援会の説明と現状の説明がなされる。また別紙「V・ファーレン長崎支援会につまきて」を配布する。V・ファーレン長崎事務局の菊次専務が急用で欠席、平鍋支援会会長、大山長崎支部長が所要で遅れる事を説明する。

19:15～：意見交換開始

・クラブへの協力について

「大量解雇」

「育成クラブを標榜しながら獲得して 1 年目の選手を大量解雇」

「クラブ創設以来の功労者である原田武男に対する対応」

「12 月 6 日に選手主催で行われたセレモニーのような物が何故クラブで行えないのか？」

「クラブのビジョンがまったく見えない」

大きく上記 4 点に対する説明の無さから疑問点と不信感が募っており、このままではクラブに協力しようという気が起きない。また、現状のフロントに対して不信感が強く協力しても今の体制では無駄なのではないかと感じている。まず、クラブから現状や今後などの事についてしっかり説明があるべきで、それがあって初めて協力について考えられるという意見が大勢を占める。

・PR・広報

広報・PR についても非常に厳しい意見が上がっており、これらの改善がなされなければクラブがどのような方向性を打ち出しても県民・ファンは届かない。改善を要求するという意見が大きい。

21:00 閉会

協力したい気持ちがある参加者は多いが、クラブの説明不足とその姿勢の無さに不信感を持っている状態を鑑みて、支援会としてはクラブに対して「サポーターズカンファレンスの早期開催」が望まれている事を報告する事を約束する。

以上

V・ファーレン長崎支援会 運営部